

(別紙4(2))

事業所名: グループホーム胡桃

目標達成計画

作成日: 平成 28 年 3 月 21 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	入居者情報一覧が持ち出ししやすい状態にない。非常時における居室の不在確認方法が明確ではない。自然災害を想定した訓練、備蓄の充実ができていない。通報装置の登録先の確認の実施。	入居者情報一覧の非常時持ち出しの工夫 非常時における居室の不在確認方法の検討 自然災害を想定した訓練の実施 備蓄の充実、通報装置の登録先確認	入居者情報一覧については顔写真付きの表を作成し、外部の方でもすぐに持ち出せるよう工夫する。居室の不在確認は職員と話し合い、現在作成中です。自然災害訓練は6月に実施の消防訓練時並行して行う予定。	3ヶ月
2	10	入居者ご家族様の苦情に対して迅速な対応が出来ず、改善に向けての取り組みに問題があったと思われる。	苦情に対して迅速に対応する。 満足度調査やアンケートの実施	毎月のお便りにアンケートを同封し、ご家族様や入居者様の意見や要望等に答えるよう取り組みたいと思っています。	2ヶ月
3	26	職員間での情報共有・伝達体制が一部の職員で確実に履行できていない。	職員全員が情報共有・伝達体制が確実に履行できるようになる。	社内研修参加職員によりレポート、資料の掲示と発表を実施しています。	2ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。